

Monthly Investment Information

投資情報マンスリー

CONTENTS

2P 今月の見通し

3P 今月の視点

4P 参考銘柄

日本ゼオン(4205)

日本電産(6594)

オムロン(6645)

日本航空(9201)

6P 投資のヒント

No.108
2017.8.9

調査情報部

今月の見通し

■トランプ大統領就任、これまでの半年とこれからの半年

7月20日、トランプ米大統領が就任して半年が経過した。昨年11月の歴史的逆転勝利で盛り上がった「トランプ・フィーバー」はすっかり影をひそめてしまった。選挙戦から『アメリカ・ファースト』をスローガンに掲げ、就任後間もなく、TPP離脱、メキシコ国境の壁建設、保護貿易主義、中国の為替操作国指定、イスラム圏からの入国禁止とシリア難民受け入れ停止、医療保険制度改革（オバマケア）の見直し、パリ協定からの離脱など、公約を矢継ぎ早に指示してきたトランプ大統領だったが、公約の実行は思うに任せない状況が続いている。

就任100日間のハネムーン期間が終了する直前の4月26日には税制改革の指針を公表し、政策期待の回復を図ろうとしたが、メディアはロシアの米大統領選介入疑惑を一斉に取り上げた。FRB長官を解任するという前代未聞の事態となり、現在も混乱が続いているが、就任当初から政権の主要ポストの解任や更迭を繰り返し、大統領への信任は著しく低下した。ある大学の調査によると、足元の支持率は33%程度まで低下し、就任以来最低となる一方、不支持率は61%まで上昇し、過去最高を更新した模様だ。

だが、しかし。こうした混乱にもかかわらず、NYダウは連日の高値更新となっており、大統領選前日の昨年11月8日終値（18332ドル）から今月4日（22092ドル）まで、実に3760ドル、20.5%も上昇した。もちろん、実体経済の好調が続いていることに疑いの余地はないが、選挙直後の政策期待は完全に剥落し、政治不安が高まる中で、果たして何を根拠に米国株式は高値を更新し続けているのだろうか？

そこで、注目されるのが「これからの半年」だ。まず、9月には2018年度予算や連邦政府の債務上限引き上げで議会の承認を得なければならない。早期に解決できないと、政府機能の停止やデフォルトに陥るリスクが高まり、混乱は世界に広がりかねない。ここでポイントとなるのは、2018年に行われる議会中間選挙を意識した動きだ。大統領の政治不安や議会の混乱によって、与党共和党は中間選挙で議席を大きく減らしかねない。それは何としても避けたいので、予算や債務上限引き上げ問題を速やかに解決し、トランプ大統領が掲げた減税の法案化を急いで、失地回復に努めたいはずだ。また、野党民主党としても、ここでやみくもに反対することは中間選挙に向けた党の印象を悪くしかねず、得策とは言えない。したがって、これから先の議会運営は意外とスムーズに進むかもしれない。減税は年明けにも法案が提出され、1月1日に遡及して実施される見通しだ。

法人税率の引き下げに加え、企業の海外資産を国内に還流させるレパトリ減税によって、インフラ投資や設備投資などの増加が実現すれば、企業業績の上乗せによってGDP成長率も押し上げられよう。低インフレで企業業績の上振れ余地拡大が見込まれば、足元の株価上昇にも納得がいく。

■7月中旬以降の相場は一進一退の展開

7月中旬以降の東京株式市場は、一進一退のみ合いとなった。安倍政権への政治不安や北朝鮮リスクが高まる中、企業の4-6月期決算を見極める動きとなった。好業績銘柄の株価上昇が全体を押し上げる場面も見られたが、信用買い残の増加による売り圧力や、決算での材料出尽くし感から上値も抑えられた。一方、下値は日銀のETF買いや年金の買いに支えられる形となった。米国株式市場はトランプ政権の政治リスクを抱えつつも、好調な企業業績や利上げ圧力の後退を背景に、NYダウは最高値更新が続いた。為替市場でドル円は、米長期金利の低下を背景に円が強含みとなり、約1か月半ぶりに1ドル110円割れまで円高が進んだ。一方、ユーロ円はユーロ圏の景気回復や良好な企業業績を映してユーロが買われ、約1年半ぶりに1ユーロ131円台を付けた。

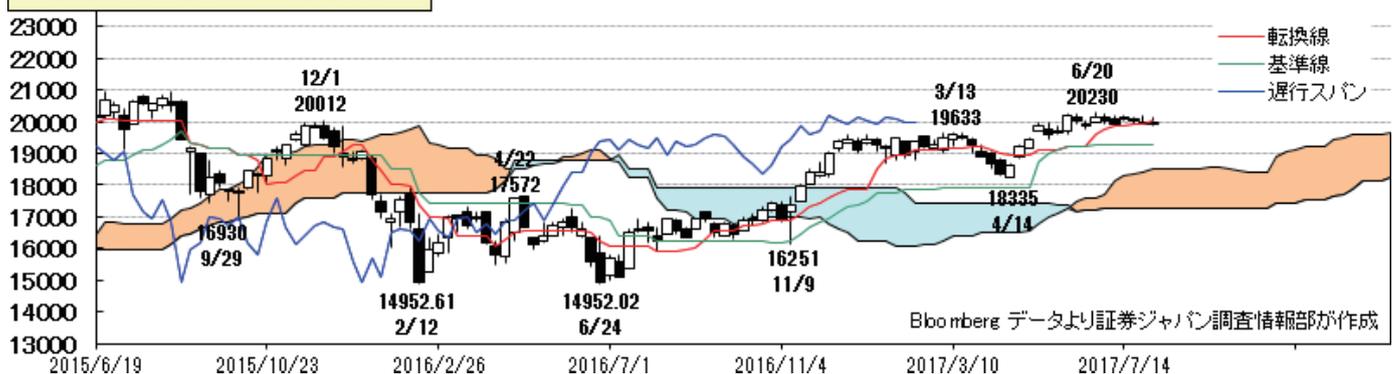
■8月中旬以降の相場は持ち直しの動きか？

8月中旬以降の東京市場は、値幅調整となる可能性があるものの、その後は持ち直しの動きとなろう。4-6月期決算発表が一巡し、一旦材料出尽くし感が広がろうが、その後は見直し買いも予想され、切り返す動きとなろう。物色は好業績銘柄や割安銘柄の選別が進もう。米国市場は9月FOMCに向けて材料探しとなるものの、好調な企業業績と景気の底堅さを背景に、概ねしっかりの展開となろう。為替市場でドル円は、米長期金利動向を睨みつつ、レンジ内のみ合いとなろう。ユーロ円は域内の景況感改善を背景に、ユーロ強含みの動きが続こう。ドル円は1ドル108円～114円、ユーロ円は1ユーロ129円～135円のレンジとなろう。

■値幅調整を経て、高値へ再挑戦か？

テクニカル面で日経平均は、週足一目均衡表の転換線（20031円：4日現在）や13週線（19633円：同）を一時下回った。これらを明確に下回ると、75日線（19814円：同）や26週線（19555円：同）を試す可能性が出てこよう。運行スパンは実体線を維持しているが、昨年12月から今年3月までもみ合ったレンジの上限に当たる19500円前後がサポートとなろう。一方、13週線や転換線を明確に上回れば、先高観が高まり、6月20日の年初来高値（20318円）を再び試す動きとなろう。これを抜ければ、中期的に一昨年6月24日高値（20868円）を目指す可能性がある。【大谷 正之】

日経平均一目均衡表(週足:円)



Bloomberg データより証券ジャーナル調査情報部が作成

今月の視点

世界経済はバランスの良い成長

各省庁の重要ポストの多くが未だ決まっていない中で主要ポストの解任や辞任が相次ぎ、ロシア疑惑に揺れるトランプ政権の迷走が続く。また、選挙公約実現に向け重要な法案、例えばオバマケア代替法案さえも成立のメドが立たない。新財政年度の予算も9月末までに通さないと政府機関の閉鎖や米国債のデフォルリスクが顕在化しよう。大型税制改革、1兆ドルのインフラ投資計画の具体化も年内に難しくなる。尤も、米国の株価は企業収益の拡大や過剰流動性による好需給で連日高値を更新中。「トランプ政策期待」の剥落でここ2年間の安値水準まで売られたドル指数（Bloombergドル・インデックス）、2%前半で揉み合う米10年債利回りとは対照的。なお、世界経済は、従来の米国1強が支える構図からバランスの良い成長に移っている。IMFが7月末に米国の成長率見通しを引き下げた一方で、欧州や中国を引き上げたように。日本も14日に発表予定の4-6月期GDPは潜在成長率を大きく上回る成長が見込まれよう。その結果、日本企業の業績も好調に推移。5日の日経朝刊によると、4-6月期の経常利益は前年同期比26.7%増、通期の経常利益は前期比5.5%増が見込まれる。中国景気の回復、IT投資の拡大、半導

【図1】

QUICK データより証券ジャパン調査情報部作成

| 銘柄 | 8/4株価(円) | 予想PER(倍) | 1Q営業利益(百万円) | 同前年同期比(%) | 今期会社予想営業利益(百万円) | 同前年同期比(%) |
|-------------|----------|----------|-------------|-----------|-----------------|-----------|
| 3132 マクニカ富士 | 1769 | 14.2 | 2764 | 110.5 | 11100 | 6.0 |
| 3258 ユニソHD | 2631 | 10.4 | 4468 | 62.8 | 16600 | 26.4 |
| 4112 保土谷 | 6980 | 91.9 | 1303 | 589.4 | 1300 | -38.9 |
| 4951 エステー | 2598 | 25.3 | 739 | 55.9 | 3500 | 22.6 |
| 4956 コニシ | 1806 | 14.5 | 1366 | 37.7 | 7390 | 8.1 |
| 4968 荒川比 | 2245 | 14.4 | 1629 | 15.2 | 4750 | -6.8 |
| 4975 JCU | 4490 | 13.8 | 1396 | 32.4 | 6200 | 12.7 |
| 5208 有沢製 | 1003 | 13.5 | 625 | 184.1 | 2650 | 48.0 |
| 5453 洋鋼板 | 490 | 44.8 | 1644 | 359.2 | 6000 | 108.6 |
| 5703 日経金HD | 295 | 10.1 | 6988 | 16.9 | 30000 | -0.7 |
| 5809 タツタ | 719 | 13.8 | 1281 | 48.8 | 4400 | 2.7 |
| 5857 アサヒHD | 2169 | 9.3 | 3491 | 32.0 | 11500 | 464.3 |
| 5911 横河プHD | 1959 | 14.7 | 2469 | 195.3 | 8200 | 2.2 |
| 6101 ツガミ | 869 | 17.1 | 1551 | 159.4 | 4500 | 46.0 |
| 6810 日立マクセル | 2366 | 25 | 2084 | 87.2 | 8000 | 5.7 |
| 7575 日本ライフL | 4780 | 26.6 | 2620 | 50.2 | 9472 | 23.3 |
| 7995 ハルカー | 3015 | 17.7 | 1506 | 74.1 | 5000 | 23.0 |
| 8283 PALTAC | 4145 | 16.9 | 5882 | 24.7 | 20500 | 7.2 |
| 8806 ダイビル | 1232 | 22.1 | 3169 | 19.1 | 11000 | 2.9 |
| 9039 サカイ引越 | 5320 | 20.8 | 5187 | 75.2 | 9438 | 25.0 |

【図2】

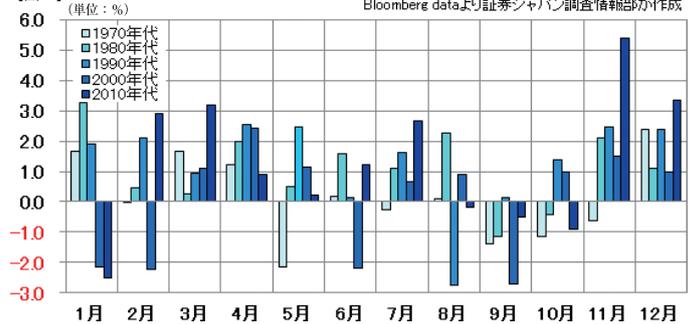
QUICK データより証券ジャパン調査情報部作成

| 銘柄 | 8/4株価(円) | 予想PER(倍) | 1Q純利益(百万円) | 同前年同期比(%) | 今期会社予想純利益(百万円) | 同前年同期比(%) |
|--------------|----------|----------|------------|-----------|----------------|-----------|
| 1944 きんでん | 1768 | 15.9 | 1952 | 87.0 | 24000 | -9.0 |
| 2127 日本M&A | 4640 | 54.4 | 2685 | 77.3 | 6763 | 9.5 |
| 3092 スタートトゥ | 3440 | 48.2 | 5532 | 54.5 | 22200 | 30.3 |
| 3407 旭化成 | 1291.5 | 15.6 | 30064 | 24.8 | 115000 | 0.0 |
| 4005 住友化 | 627 | 10.2 | 31555 | 158.3 | 100000 | 17.0 |
| 4188 三菱ケミHD | 937.7 | 9.8 | 47708 | 82.9 | 137000 | -12.3 |
| 4502 武田 | 5974 | 33.8 | 144789 | 45.5 | 138000 | 20.1 |
| 4684 オービック | 7020 | 26 | 6443 | 31.9 | 24000 | 2.7 |
| 4739 CTC | 4180 | 21.4 | 2067 | 65.9 | 22500 | 2.9 |
| 4922 コーセー | 12750 | 30.5 | 8627 | 64.1 | 23800 | 9.9 |
| 5401 新日鉄住金 | 2704.5 | 14 | 71352 | 587.4 | | |
| 5801 古河電 | 5840 | 16.1 | 6840 | 196.6 | 25500 | 45.1 |
| 6301 コマツ | 3002 | 30.7 | 36395 | 133.5 | 92000 | -18.9 |
| 6501 日立 | 738.8 | 11.8 | 75068 | 33.0 | 300000 | 29.7 |
| 6503 三菱電機 | 1729.5 | 15.7 | 67744 | 57.8 | 235000 | 11.6 |
| 6506 安川電 | 3080 | 25 | 9799 | 185.0 | 30000 | 60.5 |
| 6702 富士通 | 832.5 | 11.7 | 2149 | 115.3 | 145000 | 63.9 |
| 6758 ソニー | 4434 | 21.9 | 80871 | 282.1 | 255000 | 247.9 |
| 6762 TDK | 8030 | 18.4 | 10955 | -11.7 | 55000 | -62.1 |
| 6902 デンソー | 5326 | 14.8 | 76698 | 66.3 | 280000 | 8.7 |
| 6963 ローム | 8680 | 32.7 | 10216 | 400.0 | 28000 | 5.9 |
| 6988 日東電 | 10260 | 23.8 | 20348 | 199.2 | 70000 | 10.3 |
| 7211 三菱自 | 803 | 17.5 | 22969 | 117.7 | 68000 | 134.3 |
| 7267 ホンダ | 3125 | 10.3 | 207335 | 18.7 | 545000 | -11.6 |
| 7269 スズキ | 5636 | 17.1 | 65432 | 72.4 | 145000 | -9.4 |
| 7276 小糸製 | 6630 | 17.7 | 14600 | 46.0 | 60000 | 5.8 |
| 7974 任天堂 | 37600 | 100.3 | 21260 | 186.7 | 45000 | -56.1 |
| 8058 三菱商 | 2564.5 | 9 | 117812 | 16.8 | 450000 | 2.2 |
| 8306 三菱UFJ | 709.2 | 9.9 | 289025 | 53.0 | 950000 | 2.5 |
| 8933 NTT都市開発 | 1135 | 21.3 | 6172 | 117.9 | 17500 | 4.9 |
| 9962 ミスミG | 2776 | 36.1 | 6658 | 31.3 | 21600 | 17.5 |

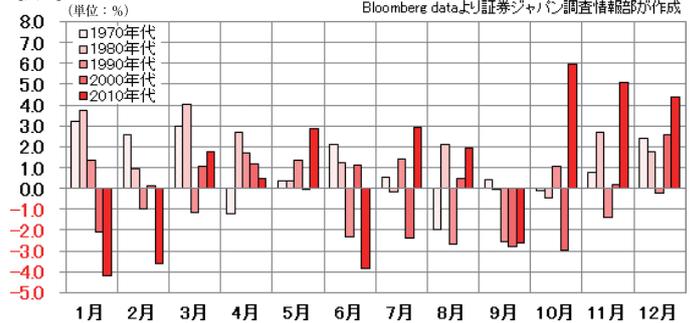
体・ロボット市場の好調、自動車やスマホ生産の堅調、期初想定に比べて円安だったこと、再開発ラッシュや東京五輪・リニア関連工事の進展、訪日外国人の増加基調、コスト低減効果などが背景にあらう。アナリストの業績予想も強気が増えてきた。尤も、安川電機と東京エレクトロンの株価のように上方修正後の株価反応はまちまちで、この時期特有の利益確定売りなのか、或いは今後のファンダメンタルの変化を織り込み始めたのかを見極めたい。図1は、第1四半期（1Q：4-6月）が好スタート、通期業績も期待される銘柄（時価総額3000億円以下、東証1部ベース）、図2は第1四半期（1Q：4-6月）がコンセンサスを上回るような好スタートとなった主な銘柄（時価総額3000億円超、東証1部ベース）をスクリーニングした（3日発表分迄）。

8月、9月相場のリスク

【図3】



【図4】



7月の日経平均の値幅は340円強にとどまり、足元も2万円前後で推移、膠着感が漂うような動き。尤も、年初来高値更新銘柄が高水準にあることやバリュエーション面からも中長期的な上昇余地はありそう。ただ、この8月から9月にかけて様々なリスクを気にしながら相場に臨むことも肝要と考える。第1に季節性の問題。図3、図4は、NYダウ、日経平均の年代別の月間平均騰落率（注意：2010年代は昨年まで）。NYダウ、日経平均ともに9月のパフォーマンスは総じて良くないことがわかる。株式、債券市場の低ボラティリティに慣れきった投資家は、少しの「ネガティブサプライズ」でも大きく動揺する可能性に注意。第2に資産縮小問題。FRB、ECBともに正常化に向けてのスケジュールが近く示されよう。マーケットに十分配慮しようが、そして日銀がアンカー役となり得るものの、過去の例（米国のQE終了後の株価動向）から軽視できない。また、短期的にはFANGの株価動向も気になる。第3に中国景気。共産党全国大会後は在庫調整による景気減速が懸念される他、過剰債務問題や地方政府の債務問題など中期的な課題も残されたまま。最後に政治動向。日本では安倍内閣の支持率が改造後に若干持ち直したように見える。経済最優先を再び打ち出したものの、規制緩和、成長戦略路線を明確に出来るかが鍵となる。

【増田 克実】

日本ゼオン (4205・東1) 主力事業が好スタート

| 決算期 | 売上高 (億円) | 営業利益(億円) | 経常利益(億円) | 当期利益(億円) | 一株利益 (円) | 配当金(円) |
|----------------|----------|----------|----------|----------|----------|--------|
| 連 2016. 3 | 2956.47 | 298.56 | 321.53 | 180.79 | 79.86 | 15.00 |
| 連 2017. 3 | 2876.24 | 307.67 | 318.05 | 231.52 | 104.31 | 16.00 |
| 連 2018. 3 日経予想 | 2900.00 | 290.00 | 300.00 | 200.00 | 90.10 | 17.00 |

第1四半期は2ケタの増収増益

合成ゴムが主力で、光学フィルムなど高機能材料にも展開。18年3月期第1四半期(4-6月)業績は売上高が前年同期比18.3%増の827.7億円、営業利益が同37.7%増の97.1億円となった。主力事業のエラストマー素材事業は同18%増収、19%営業増益。合成ゴム関連は海外で汎用品が伸びたほか、合成ラテックス関連は手袋や樹脂改質向けが好調だった。化成品関連は内外で販売数量を増やしたが、原料価格の上昇が利益を圧迫した。高機能材料事業は同22%増収、68%営業増益。高機能樹脂関連の光学用途が堅調に推移したほか、情報材料関連ではトナー、電池材料が伸びた。化学品関連では特殊化学品、合成香料が好調だったが、海外で競争激化の影響を受けた。

高い進捗率

通期見通しは売上高2900億円(前期比0.8%増)、営業利益290億円(同5.7%減)で据え置かれたが、営業利益の中間計画(130億円)に対

する進捗率は74.7%と上振れの可能性がありそうだ。また、2011/3期以降に每期増配しており、今後も期待されよう、なお、同社は10月1日付で単位株数を1000株から100株に変更する予定。

【大谷 正之】



日本電産 (6594・東1) 第1四半期は過去最高益

| 決算期 | 売上高 (億円) | 営業利益(億円) | 税引前利益(億円) | 当期利益(億円) | 一株利益 (円) | 配当金(円) |
|-----------------------|----------|----------|-----------|----------|----------|--------|
| 連 2016. 3 IFRS基準 | 11782.90 | 1176.62 | 1171.64 | 899.45 | 303.04 | 80.00 |
| 連 2017. 3 IFRS基準 | 11993.11 | 1403.31 | 1422.78 | 1117.21 | 376.67 | 85.00 |
| 連 2018. 3 日経予想 IFRS基準 | 13750.00 | 1650.00 | 1610.00 | 1270.00 | 428.94 | 90.00 |

再上方の可能性も

第1四半期(4-6月)の営業利益は390億円とQUICKコンセンサスを上回り、四半期ベースで過去最高益となった。また、上期、通期の業績予想をそれぞれ上方修正(売上高250億円、営業利益50億円、純利益20億円)。ただ、この修正は第1四半期上振れ分のみを加味したもの。また、①通期の為替レートも1ドル105円、1ユーロ110円と期初想定を据え置き、②精密小型モータや機器装置、電子・光学部品、その他の営業利益率がそれぞれ15%超となった、③注力する車載や家電分野の受注が好調に推移している、④HDD市場の短期見通しを保守的に変更した、⑤2月に買収した旧エマソングループ2社の利益率改善が急ピッチに進んでいる、⑥内製化が進み当面の部品調達懸念がないことなども鑑みれば、再上方修正の可能性がありそうだ。

成長分野に注力

市場の急拡大が見込まれるロボティクスや電気自動車(EV)・自動運転などの分野に注力。同社は、技術力、コスト競争力に加えて、顧客対応に強み

(グローバル展開、顧客ニーズの把握など)を持ち、ロボティクスでは駆動用モータを始めとした各種モータ、減速機、ビジョンセンサ、触覚デバイス、EV・自動運転では各種モータ、電動オイルポンプ、電動ウォータポンプ、ミリ波レーダー、カメラなど、多くの製品群で活躍余地は大きいとみられる。

【増田 克実】



オムロン (6645・東1) 増額修正期待

| 決算期 | 売上高 (億円) | 営業利益 (億円) | 税引前利益 (億円) | 当期利益 (億円) | 一株利益 (円) | 配当金 (円) |
|-------------------------|----------|-----------|------------|-----------|----------|---------|
| 連 2016. 3 SEC基準 | 8336.04 | 622.87 | 656.86 | 472.90 | 218.95 | 68.00 |
| 連 2017. 3 SEC基準 | 7942.01 | 675.66 | 654.92 | 459.87 | 215.09 | 68.00 |
| 連 2018. 3 日経予想 SEC基準 | 8100.00 | 680.00 | 655.00 | 485.00 | 226.84 | 68.00 |

■第1四半期増収増益

F A 向けのセンサやスイッチ、リレーなどの電子部品、車載用電装品、健康・医療機器などに展開している。18年3月期第1四半期(4-6月)業績は売上高が前年同期比10.2%増の2034.0億円、営業利益は同13.08%増の226.0億円となった。主力の制御機器は内外で半導体や液晶関連投資需要の拡大を背景に堅調に推移し、大幅な増収増益となった。電子部品は国内で自動車向けの新規採用やアミューズメント向けの需要拡大で大きく伸びた。車載事業は海外が販売台数の頭打ちで伸び悩んだものの、国内がADAS(先進運転支援システム)向けなどを中心に堅調だった。ヘルスケアは海外で血圧計の販売が好調で、増収増益となった。

■進捗率前年上回る

通期見通しは売上高8100億円(前期比2.0%増)、営業利益680億円(同0.6%増)で据え置かれている。ただ、制御機器事業を中心に需要が堅調に推移しそうな他、通期の為替前提が1ドル

110円、1ユーロ118円となっていること、通期計画に対する第1四半期の営業利益の進捗率は33.2%と前年同期の14.5%を大きく上回っていることなどから、今後増額修正が期待されよう。

【大谷 正之】



日本航空 (9201・東1) 旅客需要は旺盛

| 決算期 | 売上高 (億円) | 営業利益 (億円) | 経常利益 (億円) | 当期利益 (億円) | 一株利益 (円) | 配当金 (円) |
|----------------|----------|-----------|-----------|-----------|----------|---------|
| 連 2016. 3 | 13366.61 | 2091.92 | 2092.19 | 1744.68 | 481.29 | 120.00 |
| 連 2017. 3 | 12889.67 | 1703.32 | 1650.13 | 1641.74 | 456.56 | 94.00 |
| 連 2018. 3 日経予想 | 13480.00 | 1530.00 | 1460.00 | 1080.00 | 305.50 | 96.00 |

■ビジネス客が増加

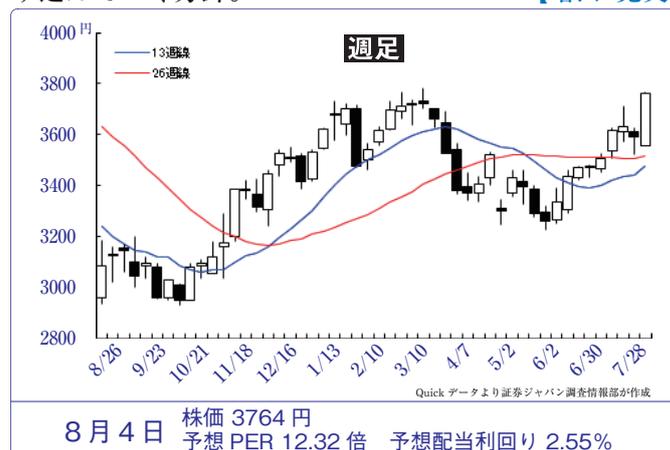
通期の業績見通しを期初計画から上方修正(売上高で90億円、営業利益で110億円、純利益で80億円)。第1四半期(4-6月)が好スタート(営業利益は前年同期比12%増の247.47億円)。国際線は旅客純単価(燃料サーチャージなどを除く)が前年同期比8%増と会社計画を大きく上回った。企業業績の好調などでビジネス客が増加、北米や欧州向けなど長距離便が好調に推移している。また、国内線は他社との競合激化で単価が下落しているものの、ビジネス客の増加などで有償旅客数が同8.1%増と会社計画を上回って推移した。費用面では燃料市況が計画を下回っている。ただ、第2四半期以降もインバウンドやビジネス客など旅客需要は旺盛に推移するとみられるが、人件費やエンジン整備費用などのコストアップや11月から稼働する新旅客基幹システムの刷新コストが大幅に増えると思われる。通期の営業利益は1530億円と前年比10%減少する見通し。

■国際線の新設、改廃を実施

4月28日に新中期経営計画を発表。営業利益率10%以上、A S K(総座席数×輸送距離:キロが

2012年度比+23%)など、数値目標は物足りないものに見える。尤も、事業制限が解除された今期以降、成長が見込まれる国際線の新設、改廃を積極的に行い新たな成長を目指す。また、LCCとの提携も本格化しそう。7月25日にはベトナムのLCC会社と包括的業務提携を結んだ。成長が見込めるアジアの需要を取り込んでいく方針。

【増田 克実】



投資のヒント

3月期決算で中間期予想に対する第1四半期実績の進捗率が高い主な銘柄群

3月期企業の第1四半期決算の発表が前半のピークを越えたが、事前の想定以上に好決算を発表する企業が多く、業績見通しを上方修正する企業も散見されている。中間・通期業績見通しに対する進捗率が高水準で、今後業績見通しの上昇修正が期待される銘柄群も散見されており、中長期スタンスで注目したい。 【野坂 晃一】

表. 3月期決算で中間期予想に対する第1四半期実績の進捗率が高い主な銘柄群

| コード | 銘柄 | 株価(円) | 予想 PER (倍) | 実績 PBR (倍) | 予想 利回り (%) | 1Q 営業利益 前年比実績 伸率 (%) | 中間期予想 営業利益伸 率 (%) | 中間期予想 比1Q進捗 率 (%) | 通期予想 営業利益 伸率 (%) | 通期予想 比1Q進 捗率 (%) | 信用倍率 (倍) | 13週 乖離率 (%) | 26週 乖離率 (%) |
|--------|--------|--------|------------|------------|------------|----------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|----------|-------------|-------------|
| 4502 | 武田 | 5974 | 33.8 | 2.31 | 3.01 | 27.5 | 15.4 | 104.3 | 15.5 | 108.3 | 1.15 | 4.65 | 8.88 |
| 4548 | 生化学 | 1829 | 38.3 | 1.46 | 1.42 | 130.6 | 16.2 | 96.0 | 17.0 | 58.3 | 1.2 | -0.19 | 1.07 |
| 4215 | タキロンCI | 615 | 13.8 | 0.85 | 2.27 | 189.1 | 61.1 | 94.9 | 61.3 | 33.6 | 0.79 | 4 | 6.34 |
| 8793 | NECキャピ | 1932 | 9.2 | 0.5 | 2.27 | 307.5 | 262.2 | 89.4 | 82.6 | 81.3 | 214.7 | 8.69 | 9.49 |
| 9039 | サカイ引越 | 5320 | 20.8 | 2.22 | 0.75 | 75.2 | 73.4 | 88.5 | 25.0 | 55.0 | 0.29 | 23.44 | 41.29 |
| 8281 | ゼビオHD | 2122 | 28.6 | 0.8 | 1.64 | 21.2 | 9.0 | 79.8 | 20.9 | 53.3 | 0.53 | 9.67 | 14.11 |
| 6305 | 日立建機 | 3100 | 36.6 | 1.6 | 0.96 | 361.5 | 403.8 | 76.9 | 62.7 | 36.8 | 0.21 | 10.8 | 11.88 |
| 7274 | ショーワ | 1270 | 8.1 | 1.07 | 1.57 | 118.1 | 黒転 | 76.4 | 黒転 | 34.6 | 4.15 | 14.58 | 22.31 |
| 5406 | 神戸鋼 | 1302 | 13.4 | 0.67 | 1.53 | 138.6 | 29.1 | 75.8 | 720.6 | 37.9 | 0.84 | 14.14 | 18.83 |
| 1515 | 日鉄鉱 | 6910 | 11.5 | 0.57 | 1.15 | 101.7 | 22.1 | 72.3 | 5.9 | 34.0 | 0.81 | 14.78 | 16.61 |
| 5453 | 洋鋼板 | 490 | 44.8 | 0.55 | 2.04 | 359.2 | 332.3 | 71.5 | 108.6 | 27.4 | 4.39 | 16.33 | 16.86 |
| 9962 | ミスミG | 2776 | 36.1 | 4.66 | 0.7 | 33.7 | 11.3 | 67.7 | 16.9 | 31.6 | 0.53 | 9.06 | 21.11 |
| 7575 | 日本ライフル | 4780 | 26.6 | 8.27 | 0.78 | 50.2 | 14.0 | 67.2 | 23.3 | 27.7 | 58.4 | 12.26 | 48.74 |
| 8141 | 新光商 | 1795 | 19.1 | 0.72 | 2.22 | 226.4 | 85.0 | 66.5 | 35.8 | 36.7 | 2.4 | 27.45 | 33.31 |
| 3580 | 小松精 | 863 | 23.1 | 1.09 | 1.39 | 49.1 | 9.8 | 66.0 | 10.7 | 30.9 | 0.73 | 14.5 | 17.7 |
| 3098 | コカラF | 6090 | 18.5 | 1.78 | 1.14 | 69.9 | 30.9 | 64.2 | 12.2 | 28.7 | 0.21 | 8.99 | 16.47 |
| 7433 | 伯東 | 1568 | 13.7 | 0.62 | 2.55 | 249.2 | 109.9 | 63.4 | 54.7 | 27.7 | 1.09 | 9.6 | 24.23 |
| 6758 | ソニー | 4434 | 21.9 | 2.16 | 0.56 | 180.5 | 145.2 | 63.0 | 73.2 | 31.5 | 1.77 | 4.39 | 12.71 |
| 6486 | イーグルエ | 2010 | 11.9 | 1.37 | 2.23 | 11.8 | 5.1 | 62.7 | 7.0 | 27.4 | 0.59 | 7.94 | 17.88 |
| 6925 | ウシオ電 | 1564 | 18.1 | 0.9 | 1.66 | 187.3 | 43.4 | 62.5 | 16.3 | 28.1 | 0.76 | 9.01 | 9.34 |
| 7313 | TSテック | 3520 | 10.4 | 1.1 | 2.15 | 52.7 | 34.3 | 62.4 | 15.8 | 32.6 | 3.71 | 7.13 | 12.48 |
| * 7236 | ティラド | 375 | 12.9 | 0.71 | 1.6 | 152.2 | 114.1 | 62.4 | 21.3 | 43.2 | 12.62 | 6.14 | 10.91 |
| * 5471 | 大同特鋼 | 678 | 14.4 | 1.1 | 1.47 | 121.2 | 50.4 | 62.4 | 17.6 | 30.2 | 0.56 | 5.26 | 13.34 |
| 8012 | 長瀬産 | 1903 | 19.2 | 0.81 | 1.83 | 59.0 | 24.3 | 62.3 | 27.1 | 29.3 | 0.36 | 12.75 | 15.99 |
| 6963 | ローム | 8680 | 32.7 | 1.25 | 2.76 | 80.1 | 26.7 | 62.1 | 19.4 | 32.7 | 1.25 | -1.36 | 5.99 |
| 2413 | エムスリー | 2928 | 51.2 | 13.93 | 0.37 | 23.9 | 12.6 | 61.5 | 15.8 | 26.5 | 6.36 | -5.28 | -1.22 |
| 7220 | 武蔵精密 | 3430 | 13.7 | 1.47 | 1.57 | 58.1 | 19.8 | 61.3 | 16.4 | 28.3 | 0.72 | 10.14 | 14.88 |
| 9766 | コナミHD | 5720 | 28.6 | 3.25 | 1.04 | 34.2 | 17.4 | 61.0 | 10.0 | 30.5 | 0.51 | -1.75 | 8.12 |
| 8140 | リョーサン | 4510 | 29.8 | 1.15 | 3.32 | 137.3 | 33.2 | 60.3 | 20.2 | 26.9 | 1.02 | 8.5 | 16.98 |
| 5482 | 愛知鋼 | 4690 | 14.4 | 0.63 | 2.13 | 35.0 | 13.8 | 60.3 | 38.5 | 39.8 | 18.5 | 5.91 | 4.44 |
| 4188 | 三菱ケミHD | 937.7 | 9.8 | 1.18 | 2.55 | 36.0 | 26.6 | 59.9 | 8.0 | 31.4 | 1.76 | 3.44 | 6.23 |
| 6471 | 日精工 | 1391 | 13.1 | 1.54 | 2.73 | 59.3 | 42.7 | 59.8 | 25.5 | 28.4 | 6.37 | -2.46 | -7.53 |
| 7483 | ドウシシャ | 2392 | 15.9 | 1.41 | 2.09 | 12.2 | 7.1 | 59.3 | 13.0 | 27.4 | 0.37 | 10.76 | 11.8 |
| * 5741 | UACJ | 286 | 8.1 | 0.74 | 2.09 | 93.0 | 53.9 | 59.3 | 39.2 | 26.4 | 5.99 | -6.41 | -4.98 |
| 9928 | ミロク情報 | 2200 | 24 | 4.58 | 1.13 | 24.5 | 5.2 | 59.3 | 7.2 | 29.6 | 0.91 | -3.77 | 5.03 |
| 7211 | 三菱自 | 803 | 17.5 | 1.69 | 1.74 | 346.4 | 黒転 | 58.9 | 1267.7 | 29.5 | 0.65 | 7.13 | 11.46 |
| 5857 | アサヒHD | 2169 | 9.3 | 1.57 | 2.76 | 32.0 | 5.3 | 58.2 | 464.3 | 30.4 | 8.93 | 12.79 | 10.55 |
| 6146 | ディスコ | 18740 | 20.3 | 3.71 | 2.29 | 118.1 | 74.6 | 58.1 | 43.6 | 33.6 | 1 | -0.85 | 3.94 |
| 3401 | 帝人 | 2158 | 9.6 | 1.17 | 2.78 | 22.0 | 22.2 | 58.0 | 13.3 | 29.9 | 3.82 | 0.23 | 0.49 |
| 5423 | 東京製鉄 | 948 | 11.3 | 1.2 | 1.05 | 79.4 | 48.8 | 58.0 | 23.6 | 35.7 | 1.49 | 2.88 | 1.93 |
| 6902 | デンソー | 5326 | 14.8 | 1.24 | 2.25 | 38.6 | 12.8 | 57.9 | 6.8 | 26.4 | 1.49 | 9.64 | 8.51 |
| 2475 | WDB | 2381 | 16.9 | 3.87 | 0.71 | 25.9 | 6.7 | 57.8 | 9.8 | 26.8 | 32.54 | 9.07 | 32.73 |
| 6101 | ツガミ | 869 | 17.1 | 1.61 | 1.84 | 159.4 | 86.0 | 57.4 | 46.0 | 34.5 | 0.89 | 4.08 | 8.85 |
| 6908 | イリソ電子 | 10790 | 24.5 | 2.81 | 0.83 | 34.2 | 12.5 | 57.4 | 8.1 | 25.5 | 0.63 | 19.63 | 34.97 |
| 3258 | ユニゾHD | 2631 | 10.4 | 0.96 | 3.04 | 73.2 | 42.4 | 56.6 | 26.4 | 26.9 | 12.04 | -5.7 | -8.13 |
| 2768 | 双日 | 298 | 7.4 | 0.65 | 3.35 | 64.6 | 54.2 | 56.5 | 6.6 | 25.7 | 7.2 | 7.97 | 6.27 |
| 8424 | 芙蓉リース | 6920 | 10.1 | 0.89 | 1.96 | 19.2 | 9.5 | 56.4 | 8.3 | 28.2 | 0.72 | 11.42 | 21.46 |
| 6958 | 日本CMK | 997 | 19.6 | 1.21 | 0.65 | 229.8 | 132.6 | 56.4 | 50.8 | 28.2 | 0.93 | 6.63 | 23.68 |
| 1332 | 日水 | 633 | 9.8 | 1.57 | 1.26 | 61.0 | 22.3 | 56.0 | 6.0 | 28.0 | 2.86 | 0.63 | 7.16 |
| 7995 | パルカー | 3015 | 17.7 | 1.78 | 2.32 | 74.1 | 42.0 | 55.8 | 23.0 | 30.1 | 1.4 | 28.43 | 42.73 |
| 7283 | 愛三工 | 1008 | 11.2 | 0.77 | 2.77 | 28.2 | 16.3 | 55.5 | 7.9 | 27.7 | 0.92 | 8.41 | 7.07 |
| 5401 | 新日鉄住金 | 2704.5 | 14 | 0.8 | 1.84 | 黒転 | 573.0 | 55.4 | 118.9 | 26.6 | 1.86 | 7.15 | 4.78 |

*指標は8/4時点、QUICKデータより証券ジャパン調査情報部作成、業績の伸率・進捗率は日経予想より算出、*印は当社インターネット信用新規停止銘柄

投資にあたっての注意事項

● 手数料について

- 国内金融商品取引所上場株式の委託取引を行う場合、一取引につき対面取引では約定代金に対して最大 1.2420% (税込) (但し、最低 2,700 円 (税込)) の委託手数料をご負担いただきます。また、インターネット取引では、「約定毎手数料コース」においては、1 取引の約定代金が 100 万円以下の場合は 1 取引につき 540 円 (税込)、1 取引の約定代金が 100 万円超の場合は 1 取引につき 1,080 円 (税込) の委託手数料をご負担いただきます。「1 日定額コース」においては、1 日の約定代金 300 万円ごとに 1,620 円 (税込) の委託手数料をご負担いただきます。

募集等により取得する場合は購入対価のみをお支払いいただきます。

※ 1 日定額コースは、取引回数 (注 1) が 30 回以上の場合、現行の手数料に加えて 21,600 円 (税込) の追加手数料を加算させていただきます。(注 2)

注 1 取引回数 = 約定に至った注文の数

注 2 複数市場へのご注文は市場ごとに 1 回の注文となります。

- 外国金融商品取引所上場株式の外国取引を行う場合、売買金額 (現地約定代金に買いの場合は現地諸費用を加え、売りの場合は現地諸費用を差し引いた額) に対して最大 1.2960% (税込) の取次手数料をご負担いただきます。
- 非上場債券 (国債、地方債、政府保証債、社債) を当社が相手方となりお買付けいただく場合は購入対価のみをお支払いいただきます。
- 投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料及び信託報酬等諸経費等をご負担いただきます。
- 外貨建て商品の場合、円貨と外貨の交換、または異なる外貨間の交換については、為替市場の動向に応じて当社が決定した為替レートによります。

● リスクについて

- 株式は、株価変動による元本の損失を生じるおそれがあります。また、信用取引を行う場合は、対面取引においては建玉金額の 30% 以上かつ 100 万円以上、インターネット取引においては建玉金額の 30% 以上かつ 30 万円以上の委託保証金の差し入れが必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が多額となり差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。外国株式の場合、為替相場によっても元本の損失を生じるおそれがあります。

- 債券は、金利水準の変動等により価格が上下することから、元本の損失を生じるおそれがあります。

外国債券は、金利水準に加えて、為替相場の変動により元本の損失を生じるおそれがあります。

- 投資信託は、銘柄により異なるリスクが存在しており、各銘柄の組入有価証券の価格の変動により元本の損失を生じるおそれがあります。各銘柄のリスクにつきましては目論見書等をよくお読み下さい。

- お取引にあたっては、開設された口座や商品ごとに手数料等やリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をよくお読み下さい。これら目論見書等、資料のご請求は各店の窓口までお申出下さい。

- 銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。

- 本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

2017 年 8 月 7 日現在、金融商品取引所の信用取引の禁止措置等の規制銘柄は当レポートより除外しております。今後、金融商品取引所等により新たな規制が行われる可能性があります。

● 当社の概要

商号等：株式会社証券ジャパン 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 170 号

加入協会：日本証券業協会

コンプライアンス推進部審査済 2017 年 8 月 7 日

【留意事項】 この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

子供の将来に向けた資産運用

平成 28 年からジュニア NISA 口座開設が可能となります。
平成 28 年 1 月から申込み受付開始、4 月より運用可能。

ジュニア NISA 始めるなら 証券ジャパン

お子様やお孫様の長期にわたる資産形成のための制度です
お子様やお孫様の将来に向けて、分散・長期投資など是非ご相談ください。

■投資可能期間

平成 28 年 4 月から平成 35 年末まで (注 1)

■運用管理

親権者等が未成年者のために代理して運用を行う。
18 歳 (注 2) までは払出し制限があります。(注 3)

非課税期間は
投資した年から 5 年間
投資額からの収益
(売却益・配当等)
は非課税



日本に住む
0 歳～19 歳の未成年者が
口座開設できます
親権者等が代理で
資産運用します

投資上限は
毎年 80 万円まで
5 年間最大
400 万円

●ご注意点

- 口座開設者が 18 歳 (注 2) になるまでにジュニア NISA 口座から払出しを行う場合は過去の利益に対して課税され、ジュニア NISA 口座を廃止することになります。(注 3)
- ジュニア NISA 口座は 1 人 1 口座。
- ジュニア NISA 口座開設後は、金融機関の変更ができません。(廃止後の再開は可能です。)
- 収益 (売却益・配当金等) が発生しても非課税となりますが、損失が発生してもその損失はないものとみなされ、損益通算や損失の繰越控除はできません。
- ジュニア NISA 口座開設には、マイナンバーの登録が必要です。

(注 1) 平成 35 年末以降、当初の非課税期間 (5 年間) の満了を迎えても一定の金額までは、20 歳になるまで引き続き非課税で保有できます。

(注 2) 3 月 31 日時点で 18 歳である前年の 12 月 31 日まで払出しが不可となります。

(注 3) 災害等やむを得ない場合には、非課税での払出しが可能です。(ジュニア NISA 口座を廃止することになります。)

※詳細につきましては、営業店または担当者に必ずご確認ください。

サービスネットワーク

証券ジャパン ホームページ
<http://www.secjp.co.jp/>

■本 社

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1-2-18
電話 03 (3668) 2210 (代表)

■日本橋本店営業部

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-8-2 新日本橋ビル
電話 03 (3274) 5353

■日本橋八重洲営業部

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-8-2 新日本橋ビル
電話 03 (3274) 4776

■沼津支店

〒410-0801 静岡県沼津市大手町 3-9-1
電話 055 (956) 3700

■藤沢支店

〒251-0025 神奈川県藤沢市鶴沼石上 1-5-2
電話 0466 (25) 3631

■溝ノ口支店

〒213-0002 神奈川県川崎市高津区二子 5-8-1
電話 044 (811) 2141

■柏支店

〒277-0842 千葉県柏市末広町 4-1-3
電話 04 (7147) 2001

■神楽坂支店

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 1-1-5
神楽坂 1 丁目ビル
電話 03 (3267) 5211

■元住吉支店

〒211-0025 神奈川県川崎市中原区木月 1-29-17
電話 044 (433) 8381

■インターネット営業部

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1-2-18
電話 03 (3668) 3446

■同業営業部

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1-2-18
電話 03 (3668) 2215

■IFA営業部

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1-2-18
電話 03 (6324) 3998